

あなたに伝えたい、たったひとつのこと

本書『きみと行く満天の星の彼方へ』のストーリーを通して、筆者（清涼院流水）が読者のあなたにお伝えしたいことは、たったひとつ。「自分にもできるはず、と信じられれば、あなたも必ず英語ができるようになります」ということに尽きます。それだけを言いたくて、この本を書いたようなものです。

本書の主人公である英人や希美子のように、「英語力ゼロ」や、それに近い状態から学習をスタートさせて、TOEICを活用して英語力を高め、やがて英語を自由自在に使いこなせるようになる——というケースは、決して珍しい事例ではありません。そして、そんな夢のような成功を実現させる上で、特別な才能や環境は必要ないのです。英語学習の成功に必要なことは、ただひとつ。「自分にもできるはず」と信じる心だけです。

近年はお子さんの英語学習に熱心な親御さんが多いので、子供の時から英語に抵抗感のない若者が増え続けているかもしれません。近い将来、英語は「話せてあたりまえ」の時代になるでしょう。ですが、本書で英人が述べているように、筆者の学生時代には、リスニングの科目や試験すらなく、外国人教師など見たこともなく、現代と比べて日本の英語

教育は極めて未成熟でした。筆者と同世代（1970年代生まれ）以上の年齢層には、あるいは下の世代の方であっても、英語に根深い苦手意識を持たれている方は多いのではないかと思います。

筆者自身、社会に出て数年後には学生時代の記憶はリセットされ、最初はまさに本書の英人と大差ない「英語力ゼロ」の境地からスタートしたのですが、のちにTOEIC満点を5回獲得し、今では日本人作家の小説を毎日英訳し続けているので、かつて英語ができなかったことをなかなか信じていただけないことも多くあります。ですが、それは筆者だけの特別な成功例ではなく、かつて筆者が主宰していた「社会人英語部」という学習サークルでは、多くの学習者が「英語力ゼロ」からスタートして、ほとんどのメンバーがTOEIC900点を超えました。努力を積み重ねて990点を獲得した仲間も、何人もいます。

すべての英語学習者にとって、TOEIC900点や990点は、まさに「夢のスコア」で、そのスコアを獲得したおかげで転職に成功するなど、人生が激変するケースも珍しくありません。筆者自身、TOEICを活用して英語力を高め続けたことで、今では英語勉強法の本を何冊も出版し、日本語の小説を苦もなく毎日英訳できるようになったのです。

かつて英語ができなかった自分からすると、現在、目にはいるのは夢のような光景です。たまに、本当の自分は今でも英語ができないまま、自分は英語が得意になった夢を見て

いるだけなのではないか……と思うことさえ実際にあります。この夢のような光景が現実である幸せを噛みしめると、かつて「英語力ゼロ」だった頃、自分の英語人生をあきらめず、最初の1歩を踏み出して良かった——と、しみじみ思うのです。

英語ができない人にとつて、英語学習がどれだけ難しく、苦しく感じられることであるかを、筆者は、よく知っています。なぜなら自分自身がかつてそれを嫌というほど経験しているからで、本書でも登場人物を通して描いている「英語ができない苦悩」は、学生時代に英語が得意だった方には、想像することさえできない境地かもしれません。筆者がその気持ちを理解できることこそ、自分がかつてその世界の住人だった、なよりの証拠です。

だから、今のあなたが本書の英人や希美子のように「英語力ゼロ」か、それに近いレベルであっても——また、どのような境遇にあり、何歳であっても、なにも問題はありませぬ。あなたも彼らと同じ道を通って成功することは可能です。

本書を読まれたあなたが、「自分にもできるはず」と思ってくださいれば、筆者としては、それ以上の喜びはありません。もちろん、最初から「できるはず」と信じるのは、なかなか難しいことです。多くの学習者と接してきて、その難しさも、よく知っています。でも、最初は一時的でも良いので、「できるかも」と、ほんの少しだけ意識を変えてみることで、できるのではないのでしょうか。それが最初の1歩となり、そこからゆつくりと歩み始めれ

ば、「できるかも」は、やがて「できるはず」という確信に成長します。ご自分の可能性を本気で信じられるようになるのにつれて、自然に結果がついてくるようになります。

ここで改めて強調したい点として、英語学習においては、それぞれのレベルに応じた「正しい勉強法」が重要になります。たとえば、TOEICであれば、「模試や問題集を解きまくる」といった上級者の勉強法のマネをしても、初級者は成長できず、かえって自信を喪失するだけです。初級者には初級者にふさわしい学習法（単語や文法の基礎固め）が重要です。中級者に成長すると、それは、もはや「正しい勉強法」ではなくなります。本書では、初級者から上級者まで、それぞれの段階ごとの理想の学習法をご紹介しますので、英人と希美子のその時々レベルを基準に、ぜひ、ご参考になさってください。

参考書や問題集の選び方についても本書で紹介していますが、大切なのは、ご自分に合った本を見つけることで、そこさえクリアしていれば、どの本を使うかは大きく重要ではありません。多少の優劣があるにしても、書店さんに並んでいる本は、内容に価値のあるものばかりです（そうでなければ、そもそも出版されていません）。ですから、あなたと相性の良い本であれば、どの本を使っても効果は出るはずですよ。逆に言えば、どれだけ評判の良い本でも、あなたに個人的に合わない本もありうることは、ご注意ください。必要があります。有名な本を使っても結果が出ない時には、その本があなたに合っていない可能性があります。お気に入りの本を見つければ、それだけで成功に大きく近づきます。

そして、英語学習において、なにより重要なのは、本書で描いている「ドリーム・キラ」の存在に気をつけていただくことです。あなたがどれだけヤル気にあふれていても、「ドリーム・キラ」が近くにいては、ヤル気を削がれて学習の能率が悪くなってしまうすし、最悪、その人物のせいで挫折してしまうことさえ考えられます。「ドリーム・キラ」にはなにを言ってもムダなので（相手の性格を変えるのは難しいので）、悪影響を受けないように、そういう人物は意識して遠ざけてください。もし日常生活で会わざるをえない人物であれば、その相手に対して心を閉ざすだけでも、防御することができます。

オンライン英語塾O E Jは残念ながら実在しませんが、「こういう塾があったら良いのにな……」という理想を込めて描きました。実在しないと知ってガツカリされる方がいらつしやるかもしれませんが、本書の中の世界にはO E Jがたしかに実在していますので、あなたが英語学習に迷われた時には、いつでもこの場所に戻ってきて、エリカやケンエイの授業から何度でも学びや気づきを得ていただけることを期待しています。

最後に、本書はプチ・レトル株式会社（発行所名…リチェンジ）の谷口一真代表と、人気英語講師&著者「タニケイ」こと谷口恵子さんご夫妻から依頼されて、執筆したものです。内容の濃いミーティングの場を定期的に設けてくださり、そのつど適切なフィードバックとリクエストで本書を最良の形に導いてくださった谷口ご夫妻に、この場をお借りして、謹んで感謝申し上げます。本当に、ありがとうございます。

本書を読み終えられたあなたの英語学習が、満天の星のように輝かしい成功へと結びつきますように、心から祈っています。

2019年（令和元年）9月

清源院流水拜